

☆ 中 国

繊維政策

繊維分野の第 13 次五カ年計画が正式発表

工業・情報化部は 9 月 28 日、「紡織工業発展計画（2016－2020 年）」（いわゆる第 13 次五カ年計画）を発表した。

骨子としては、繊維業界が、品種を増やし、品質を向上させ、ブランド（品）力向上するという「三品」戦略に重点が置かれ、スマート製造とグリーン製造を推進、繊維強国を初歩的に建設するといった目標が打ち出されている。

主な目標としては、繊維産業の成長方式を規模の拡大から品質・効率重視型へとモデルチェンジすることをあげ、第 13 次五カ年期間中（2016～20 年）、規模以上繊維企業の工業増加値の年平均成長率を 6～7%とし、繊維品輸出の世界市場に占めるシェアを安定させるとしている。

このモデルチェンジには、イノベーション、構造調整、品質向上、ブランド創造、グリーン発展が主要な指標になると関係者は述べている。

第 12 次五カ年期間（2011～15 年）、中国の繊維業界の一人当たり平均労働生産率は年平均 10%前後の伸びとなった。同期間中に 16 件の国家科学技術賞を受賞している。一方、第 13 次五カ年計画期間中の目標としては、繊維業界の発明特許件数を年平均 15%で増加させ、規模以上繊維企業の労働生産率を年平均 8%以上向上させる。また、大中型繊維企業の研究開発費の全売上高に占める割合を 1%に到達させるとしている。

この他の目標としては以下のような項目がある。

- ・2020 年までに、繊維の最終消費用途として、アパレル、家庭用、産業用の比率を 40:27:33 に到達させる。
- ・繊維業界の環境対応を進め、単位工業増加値当たりのエネルギー消費を 18%、水使用を 23%、主要汚染物の排出総量を 10%、それぞれ減少させる。

こうした目標を実現するため、第 13 次五カ年計画では 6 項目の重点任務、すなわち、イノベーション能力向上、三品戦略の実施、スマート製造推進、緑色発展の推進、地域の協調発展の促進、企業の総合実力向上を定めている。また、産業構造の最適化を強化することも掲げられている。

工業・情報化部の責任者によると、中国の繊維産業にとって、内需拡大と消費のアップグレードが最大の牽引力であり、都市部と農村住民の収入増、都市化建設、一人っ子政策の終了などが重なり、消費の成長が進むと述べ、国際協力の強化によって繊維産業の発展の新たな戦略を形成することに期待すると述べている。

☆ カンボジア

労 務

アパレル産業の最低賃金が 153 ドルに

カンボジア政府、労働組合、経営者で構成される労働諮問委員会 (Labour Advisory Committee:LAC) が、2017 年 1 月以降、カンボジアのアパレル産業の最低賃金を月当たり 153 ドルとすることを決定した。現在の最低賃金は 140 ドル/月、2012 年には 66 ドル/月であり、5 年で 2 倍以上に上昇している。

LAC の会議では、出席した 24 名のうち 22 名が政府提案の月額 148 ドルに賛成し、労働組合が提案する 171 ドルに賛成したのは 2 名であり、経営者の提案した 147 ドルへの賛成者はゼロだった。

労働省によると、148 ドル/月の提案が圧倒的な支持を得たが、政府首脳はさらに 5 ドルの増額を決定し、2017 年の最低賃金を 153 ドルにしたという。労働者に付与される他の福利厚生はそのまま変わらない。

労働省は、今回の決定に関して、衣料品産業は年間輸出額が約 60 億ドルとカンボジア経済にとって非常に重要な産業であり、同産業では 60 万人以上の労働者がいる。最低賃金の上昇でこうした労働者の生活水準は向上することが期待されるとしている。

新たな最低賃金は労働組合の希望額には達しなかった。先月、17 の労働組合は生活費やインフレ、社会的要因に鑑みて 179.60 ドルの最低賃金を要求することで一致していた。

しかし、給与が上がり続けると、カンボジアの衣料品工場は受注減に見舞われるリスクがある。今回決定された最低賃金は、すでにバングラデシュの衣料品産業労働者の給与の倍を上回る水準となっている。